



首振りタイプ

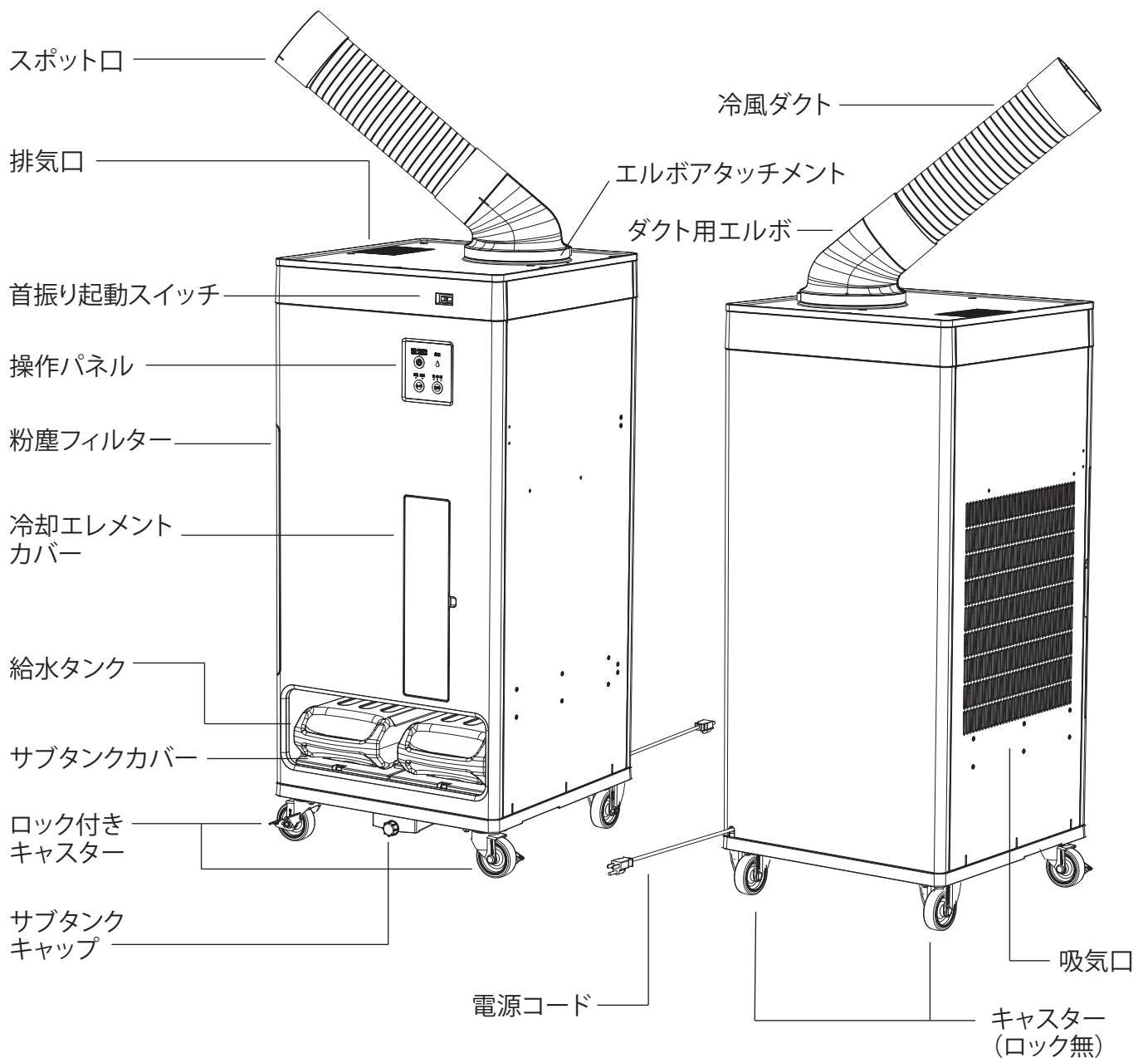
ユーザーズガイド

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品をお使いいただく前に、本書をお読みください。

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

各部の名称



本書のみかた

この安全ガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を記載しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
	ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示します。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

	特定の条件において、発火の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、感電の可能性があることを意味しています。
	「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。
	外部の火気によって、製品が発火する可能性があることを意味しています。
	製品の特定場所に触れることによって、傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を分解することによって、感電などの傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品をぬれた手で扱うと、感電する可能性があることを意味しています。
	製品を水にぬらすと、感電する可能性があることを意味しています。
	「しなければならないこと」を意味しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。
	アースをつなぐことを意味しています。

安全にお使いいただくために

電源や機器の配線について

警告

	アースは必ず接続してご使用ください。また、漏電ブレーカーを設置したコンセントを使用してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
	電源はAC100Vでご使用ください。 DC電源やインバータ(DC-AC変換装置)を接続して使用しないでください。火災、感電の原因になります。 本製品を接続するコンセントがAC電源またはDC電源のどちらかわからないときは、電気工事資格をお持ちの方にご相談ください。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。 確実に差し込まないと隙間に水・埃等の異物が入り込み、火災や感電の原因になる可能性があります。
	電源コードや電源プラグは定期的にコンセントから抜いて点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂等の損傷がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
	電源コードは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。電源コードの破損が火災の原因となります。
	長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。 また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	本製品を清掃するときは、必ずコンセントから電源コードを抜いてください。火災や感電の原因となります。 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグの本体を持って抜いてください。

注意

	本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。
	いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

このような場所に置かないで

警告

	雨や水のかかる場所では使用しないでください。漏電による感電、火災の原因となります。
	火気の近くや火花の飛び散る恐れのある場所で使用しないでください。本体の変形や火災の原因になります。
	船舶・車両等での空調用には使用しないでください。水漏れ・漏電による感電、火災の原因となります。
	カーボンや金属などの導電体の粉じんが発生する場所では使用しないでください。ショートにより火災や感電の原因になります
	動作保証温度の範囲外で使用しないでください。火災・故障の原因になります。 動作保証している環境の範囲は次のとおりです。 温度：5～45℃

もしもこんなときは

警告

	異常な音が出たり、煙が出たり、熱が出たり、異臭がしたときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	本製品を転倒させたり、破損したときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。
	下記に例示するような通電性のある異物が製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電を起こす恐れがあります。本体製品内部に異物が入った場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。 ・クリップやホチキス針などの金属 ・ネックレスや指輪などの貴金属 ・水、薬品、ペットの尿などの液体

その他のご注意

警告

	分解や改造はしないでください。火災、感電の原因となります。
	火気を近づけないでください。火災や感電の原因となります。
	吸気口やスポット口、排気口を紙や布などで塞がないでください。故障や火災の原因になります。

注意

	排気口やスポット口に指や棒などを絶対に入れないでください。回転部に触れてけがをする恐れがあります。
	ロック付きキャスターのロックを外した状態で使用しないでください。不用意に動いてけがをするおそれがあります。

重要

	換気設備の十分な空間でご使用ください。狭い密閉された空間で使用すると湿度が上がり、冷却能力が発揮できないだけでなく、周辺の金属器具に湿気による錆などを発生させる可能性があります。
	本体の吸気口周辺は十分に空間 (50cm以上) をとってください。吸気口を壁面やその他の障害物に近づけすぎると、風量不足となり、性能低下の可能性があります。
	本体は水平に保ってください。傾けて設置すると、水が漏れる可能性があります。
	水道水をご利用ください。井戸水、工業用水を使用すると、臭気発生の原因となります。
	毎日、運転終了時には必ず残留水を排出してください。給水タンクやサブタンクの水をそのまま放置すると、腐敗や微生物増殖などにより、臭気発生の原因となります。
	運搬・移動の際は、給水タンクや、冷風ダクトなどの部品をしっかりと固定してから移動させてください。
	運転中の移動はしないでください。水漏れや故障の原因となります。
	スポット口及び排気口からの冷却は湿気を帯びているため、前方には錆やすいものをおかないでください。
	油が浮遊している環境で使用しないでください。循環水に油が混じり使用できなくなる恐れがあります。きれいな外気が入る位置に設置してください。
	本製品の上に物を置かないでください。
	本製品に貼られている製造番号が記載されたラベルは、はがさないでください。
	首振り部分を無理な力で回さないでください。

1. 使う前に知ってほしいこと

ダクト用エルボ・冷風ダクトの取り付け方、取り外し方

【ダクト用エルボを取り付ける】

- ダクト用エルボに記載してある▲マークの位置をエルボアタッチメントに記載してある▲マークの位置と合わせて取り付ける。
- ダクト用エルボを回転させてダクト用エルボが

首振りタイプではこちらの△マークは使用しません

ダクト用エルボ

【冷風ダクトを取り付ける】

- ダクト用エルボに記載してある | マークの位置を冷風ダクトに記載してある | と合わせて取り付ける。
- 冷風ダクトを矢印の方向に回転させて冷風ダクトが

【冷風ダクトを取り外す】

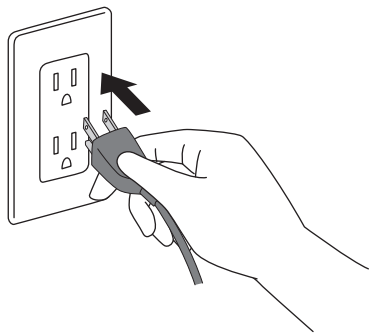
冷風ダクトを矢印と反対の方向に回転させて取り外す。

【ダクト用エルボを取り外す】

ダクト用エルボを回転させて、ダクト用エルボに記載してある▲マークの位置をエルボアタッチメントに記載してある▲マークの位置と合わせて取り外す。

電源コードの接続

電源プラグをコンセント (AC100V) に確実に差し込む

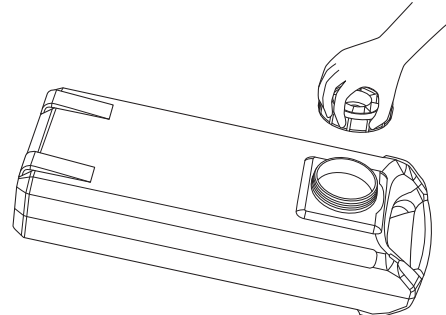
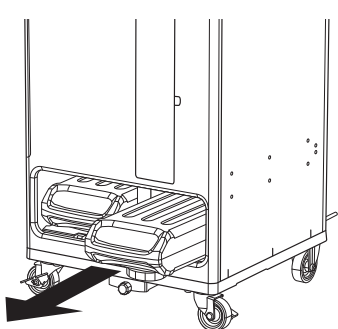


警告

- アースは必ず接続してご使用ください。また、漏電ブレーカーを設置したコンセントを使用してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 電源はAC 100V以外で使用しないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源コードや電源プラグは定期的にコンセントから抜いて点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂等の損傷がないかどうか確認してください。
- 電源コードは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- 長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 清掃する際は、必ず電源プラグがコンセントから確実に抜かれていることを確認してから行ってください。

給水方法

1. 製品から給水タンクを取出す。
2. 給水タンクのキャップを外す。



3. タンクを振り洗いしてから水道水（飲用）を給水する。
4. 給水タンクのキャップを確実に閉める。
5. 給水タンクを本体にセットする。

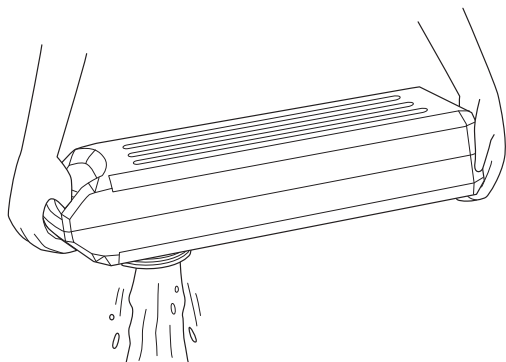
お願い

- タンクを満水にすると重くなりますので、持ち運ぶ際は両手で持ってください。
- タンクまたはサブタンクから水漏れがないか確認してください。
※漏れているときは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご相談ください。
- 給水直後に運転ボタンを押した際に、給水ランプが点滅し、ブザー音が鳴ることがあります。給水後は少し待ってから電源を入れてください。

排水方法

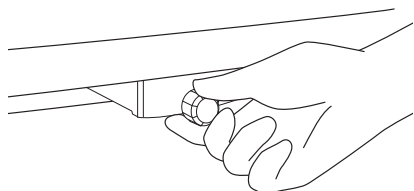
【給水タンクの排水】

1. 製品から給水タンクを取出す。
2. 給水タンクのキャップを外す。
3. 給水タンクの口を下に向けて排水する。



【サブタンクの排水】

1. バット等を用意し、サブタンクの水を受ける準備をする。
2. サブタンクキャップを外し排水する。（最大で 3.5L の水がサブタンク内に残っています）



お願い

サブタンク内の水が入った状態で移動しないでください。
内部に溜まっている水が外に漏れて、周辺の機器などを濡らす恐れがあります。

2. まずは使ってみましょう

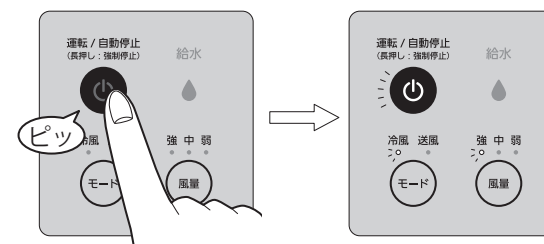
運転を開始するとき

お願い

- 本体が水平で、キャスターロックが固定されているか確認してください。
- 電源コードとアースの接続が確実に行われているか確認してください。
- 換気設備の十分な空間が確認してください。狭い密閉された空間で使用すると湿度が上がり、冷却能力が発揮できなくなります。（換気扇などの強制換気装置と併用すると冷却能力向上に効果的です）

運転／自動停止ボタンを押す

運転ランプ（緑）と冷風モードランプ（緑）、風量強ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。



補足

使用環境によっては冷風モードで運転を開始してから冷風が出始めるまでに時間を要する場合があります。

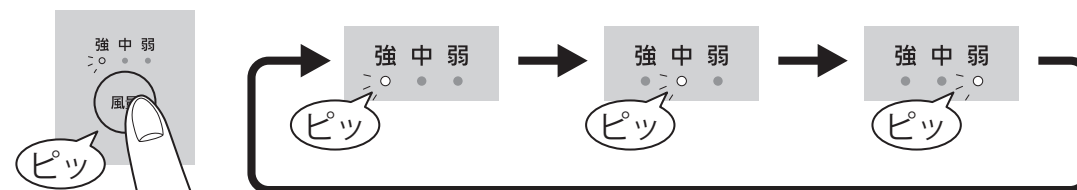
モード切換をするとき

モード切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります。
起動時は、冷風モードに設定されていますので、お好みのモードに設定してください。
冷風：ファンとポンプが作動し、冷風運転を行います。
送風：ファンのみが作動し、送風します。



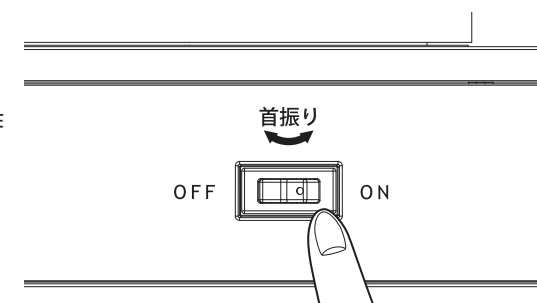
風量切換をするとき

風量切換ボタンを押すごとに風量が切り換わります。
起動時は風量が「強」に設定されていますので、お好みの風量に設定してください。



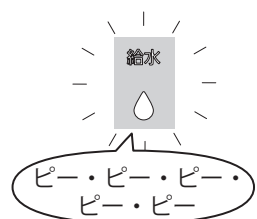
首振りON－OFF切換をするとき

首振り起動スイッチをONにすると首振り動作を開始します。首振り起動スイッチをOFFにすると首振り動作が停止します。



給水の合図

冷風モード運転中にタンク内の水がなくなると給水ランプが点滅し、ブザー音でお知らせします。製品内部のポンプは停止し、自動的に送風モードに切り換わります。



補足

運転中にモード切換ボタンを3秒以上長押しすることで、給水ランプが点滅した際にブザー音が鳴らないように設定することも可能です。

解除のしかた

1. 給水タンクに水を入れ、本体にセットしてから再度、モード切換ボタンを押す



補足

給水直後はサブタンクに水が溜まらず、モード切換ボタンを押した際に、給水ランプが点滅し、ブザー音が鳴り、再び送風モードに切り換わることがあります。給水後は少し待ってからモード切換ボタンを押してください。

2. 給水ランプが消え、冷風モードに切り換わっていることを確認

運転を停止するとき

運転／自動停止ボタンを押す



運転／自動停止ボタンのランプが点滅し、30分後に運転を停止します。（自動停止機能）

自動停止機能の間はポンプを停止し、送風モードで運転し、製品内部を乾燥させます。

強制停止のしかた

運転時または自動停止機能の間に運転ボタンを長押しすると、すべての動作を停止します。

重要

- 冷風モードで使用した後、強制停止で終了をすると、機器内部が乾燥しないため、雑菌の繁殖により臭いの原因になることがあります。

3. お手入れのしかた

お願い

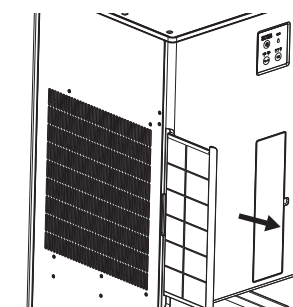
- 粉塵フィルター、冷却エレメント、ポンプ水フィルター、サブタンク内の汚れ状況を見ながら適宜行ってください。
- 早めに清掃すれば、汚れは簡単に取り除け、冷房能力も維持されます。
- 少なくともシーズンのはじめと終わりには必ず実施してください。

■ 清掃頻度の目安 ※使用環境や使用状況によって清掃頻度は異なります。

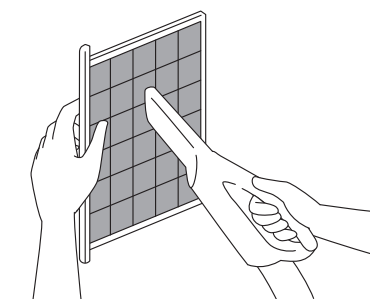
給水タンクおよびサブタンク内の残水の排水	毎日
粉塵フィルターの清掃	1週間に1回
冷却エレメントの清掃	2週間に1回
サブタンクの清掃	1週間に1回
ポンプ水フィルターの清掃	2週間に1回

粉塵フィルターのお手入れ

1. 粉塵フィルターの取っ手を持ち、手前に引き、外す



2. 粉塵フィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水またはぬるま湯でよく洗う（汚れがひどい場合には中性洗剤を使用してください。）



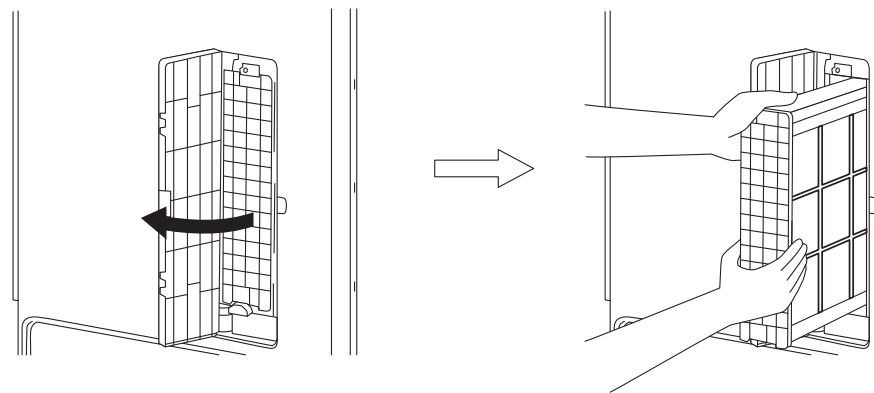
3. 洗浄した後は水でよくすすぎ、乾燥後元どおりに取り付ける

重要

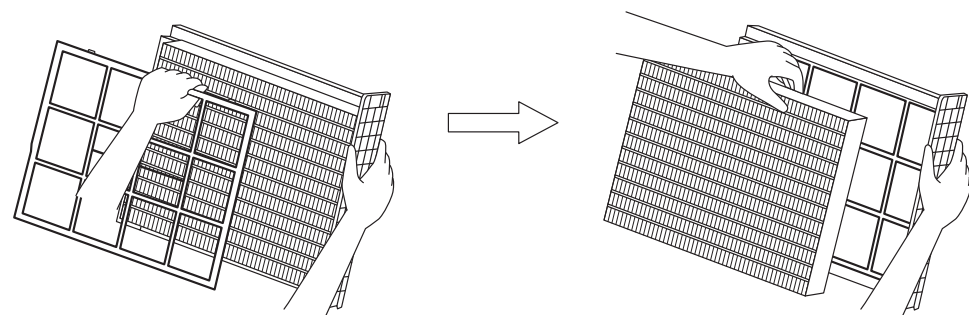
- 粉塵フィルター洗浄後の水切りの際は粉塵フィルターをたたきつけたりしないでください。粉塵フィルターが割れることがあります。
- 洗浄にはシンナー・トリクレンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 粉塵フィルターの汚れがひどくなると冷却能力や風量低下の原因になりますので、週1回程度粉塵フィルターのお手入れをしてください。
- 破損や、やぶれなど粉塵フィルター機能に影響を及ぼす可能性がある場合は、直ちに交換してください。本体故障の原因になります。

冷却エレメントのお手入れ

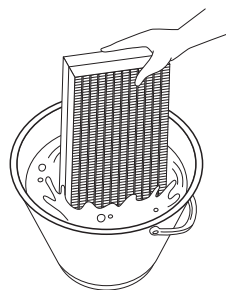
1. 製品正面のカバーを開けて、上下に設置されているツメを回し、冷却エレメントユニットを引出す



2. 冷却エレメントフレーム（押さえ）を取り外したあと、冷却エレメントを取り出す



3. めるま湯（40℃以下）にクエン酸をよく溶かし、冷却エレメントを半分に折り、約30分浸ける（冷却エレメントは半分に折れる構造になっています。）
※クエン酸使用量：10Lあたり大さじ6杯（60g）



重要

- 濃度が濃いと、部品破損の原因になります。
- 台所用中性洗剤もお使いになれますが、臭いや汚れが落ちにくいことがあります。
- 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く（最長2時間）してください。

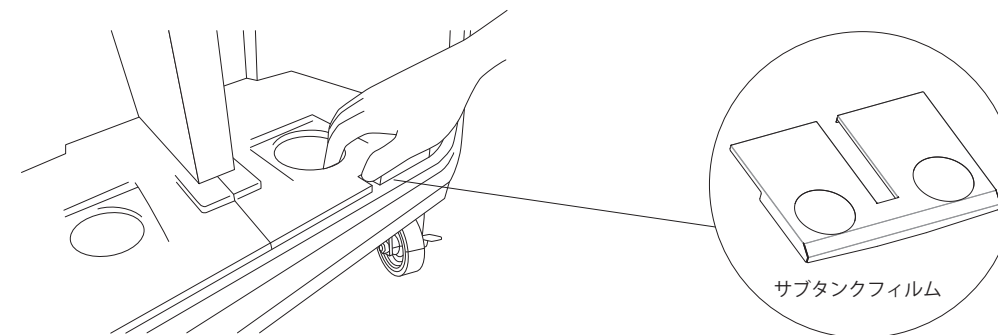
4. 水道水でしっかりすすぎ洗する（目安：2分以上）

重要

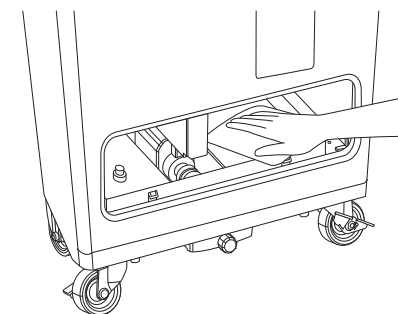
- クエン酸や洗剤の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
- 冷却エレメントはクエン酸で洗浄せずに使用を続けると寿命が短くなり、3シーズンに満たなくても交換が必要になる場合があります。
- クエン酸は薬局、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。
- クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

サブタンクのお手入れ

1. 左右の給水タンクを取り出し、サブタンクカバーのツメを押しながら上方向に持ち上げ、取り外す
2. サブタンク内に設置されているサブタンクフィルムを取り外す



3. サブタンクおよびサブタンクカバー、サブタンクフィルムをぞうきん等でふき洗する

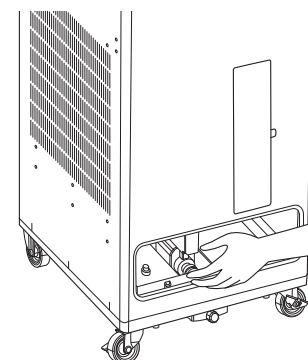


お願い

- 汚れがひどい場合は、中性洗剤などで洗浄してください。中性洗剤を使用した場合は、必ず新しい水ですすぎ洗いをしたぞうきん等でふき洗を行い、洗剤をサブタンク内に残さないようにしてください。残っていると故障の原因になります。
- サブタンク内に水をかけて掃除をする場合は、サブタンク下のサブタンクキャップを外してから行ってください。
- サブタンクの水は毎日排水し、週に一度はサブタンク内を掃除してください。

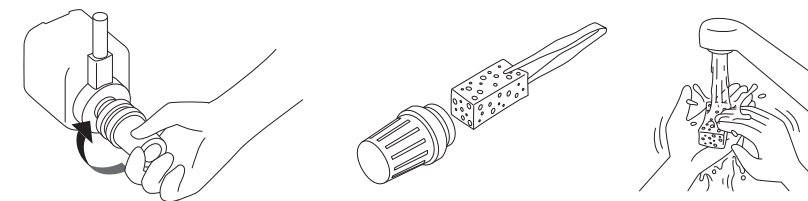
ポンプ水フィルターの交換

1. 給水タンクおよびサブタンクカバー、サブタンクフィルムを取り外す。
2. サブタンク内のポンプ水フィルターを時計まわりに回しながら引き抜く



重要

- 反時計まわりに回しながら引き抜いたり、強く引き抜かないでください。ポンプ内部の部品が外れる可能性があります。



3. 新しいポンプ水フィルターも同様に、時計まわりに回しながら差し込む
4. お手入れの際は、ポンプフィルターの中のスポンジを取出し、水道水で揉み洗いしてください。

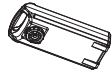
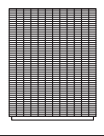
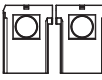
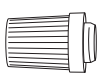
4. 故障かな?と思ったら

下表の処置方法が「販売店に連絡」の場合、または、処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。

問 題	原 因	解 決 方 法
●全く動かない	●主電源が入っていない	●主電源を入れる
●首振りしない	●首振り起動スイッチが入っていない ●首振り機構まわりの不良	●首振り起動スイッチを入れる。 ●販売店に連絡する
●風量が少ない	●電源電圧が低い ●エアフィルターや冷却エレメントが目詰まりしている ●吸気側の空間が狭い	●電気業者に連絡する ●粉塵フィルターや冷却エレメントを掃除する ●吸気側に空間(50cm以上)をとる
●給水ランプが点滅する	●タンクの水量が少ない	●給水する
●給水タンクに水が入っているのに給水ランプが点滅する	●給水後自動的には消灯しない ●給水直後サブタンクに水が溜まっていない ●本体が傾いている ●給水タンクが本体に確実に入っていない	●モード切換ボタンを1回押す ●給水後は少し待ってからモード切換ボタンを1回押す ●水平な場所に設置する ●給水タンクを本体の奥まで確実に入れる
●本体からの水漏れ	●本体が水平に保たれていない ●部品の破損	●本体を水平にする ●販売店に連絡する
●振動や騒音の発生	●ファンまたはファンまわりの不良	●販売店に連絡する
●冷風に不快な臭いがする	●循環水や循環経路に雑菌が繁殖している ●冷却エレメントに黒カビなどの汚れが目立つ ●水道水以外の水を使用している	●給水タンク及びサブタンクの掃除を行い、新しい水道水に入れ替える ●冷却エレメントを掃除または交換する ●水道水を使用する
●風は出ているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	●エアフィルターに埃が付着している ●冷却エレメントに水アカが付着している ●送風モードになっている ●ポンプの不良	●エアフィルターのお手入れをする ●冷却エレメントのお手入れをする ●モード切換ボタンを押して冷風モードにする ●販売店に連絡する
●音がする	●「ボコボコ」という音は、給水タンクからサブタンクに水が供給されるとき、給水タンクの中に空気が入る音です ●「ブーン」、「ジー」という音は、ファンが動いている音です	●異常ではありません ●異常ではありません。いつもより音が大きい場合は、フィルタ・冷却エレメントのお手入れをしてお使いください
●臭いが出る	●冷却エレメント・サブタンクが汚れている	●冷却エレメント・サブタンクのお手入れをする

5. 別売部品について

次の別売部品は、お買い求めの販売店にご注文ください。

	品 名	備 考		品 名	備 考	
消耗品	粉塵フィルター	3シーズンを目安に交換を推奨します。3シーズン以内でも汚れが落ちにくくなったり、ニオイが発生したら交換をおすすめします。		給水タンク	部品の劣化や破損、紛失時に交換してください。	
	冷却エレメント	3シーズンを目安に交換を推奨します(1シーズン6カ月、8時間運転、月に1回クエン酸洗浄した場合)。3シーズン以内でも汚れや水アカが落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換をしてください。		サブタンクカバー		
				冷風ダクト		
	ポンプ水フィルター	3シーズンを目安に交換を推奨します。3シーズン以内でも異物のつまりや傷みがひどいときは交換をしてください。		ダクト用エルボ		

6. 仕様

品 名	排熱レス&フロンレス スポットクーラー PureDrive 首振りタイプ
品 番	ZE A186101
電 源 電 圧 お よ び 周 波 数	AC100V 50／60Hz
消 費 電 力 (5 0 ／ 6 0 H z)	135／175W
風 量 (5 0 ／ 6 0 H z)	370／450m ³ /h
首 振 り 角 度	90° (1往復：約24秒／約20秒)
タ ン ク 容 量	約15L (約7.5L×2)
給 水 方 式	タンク脱着式
連続冷風使用时间 (50／60Hz) ※1	9／8時間
安 全 装 置	過負荷保護・サブタンク空検知・ポンプ過熱保護・モーター過熱保護
運 転 音 (5 0 ／ 6 0 H z)	61／65dB (A)
コ ー ド の 長 さ	2m
外 形 寸 法 (幅 × 奥 行 × 高 さ)	500mm×500mm×1120mm ※2
重 量	約42kg

※1 室温35℃、湿度60％の場合

※2 冷風ダクト、ダクト用エルボ含まず

7. 保管するとき(長期間使用しないとき)

- 給水タンクおよびサブタンクの残水を完全に排水する
- 1時間程度送風モードにて運転を行い、本体内部を乾燥させた後、運転を停止する
- 電源コードのプラグをコンセントから抜く
- 「お手入れのしかた」に従ってお手入れをする
- 製品および部品が乾燥したら、埃がたまらないようにカバーをかけ、湿気の少ない屋内で保管する

8. 保証とアフターサービス

保証について

この製品には、1年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。
なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、購入日がわかるものを添えてください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください、もう一度ご確認ください。
それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店、または、弊社にご相談ください。
ご相談の際には、製品の異常状態と品名・品番および製造番号をお知らせください。
※製造番号は、製品の側面に貼付してある「ラベル」に記してあります。

無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は有償修理いたします。



× 毛

ご購入上げ日		年	月	日
お客様	ご芳名 様 〒□□□-□□□□			
	ご住所 電話 ()			
	販売店	住所・店名 電話 ()		

- 1) 取扱説明書等の注意事項に従った正常な状態で、保証期間内に故障した場合は無償で修理します。この場合、修理料金を無償とし、運送料を含む諸経費はお客様の負担となります。
- 2) 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - プラザーエンタープライズ製品以外の消耗品（エアフィルター、冷却エレメント等）及びオプション品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
 - 取扱い上の不注意、誤用による故障および損傷。
 - 当社又は当社指定修理店以外による修理、改造による故障及び損傷。
 - 火災、天災地変又は異常電圧、公害、塩害、異物又はゴキブリや虫の侵入等による故障及び損傷。
 - 油煙、熱、塵、水、直射日光等の劣悪設置環境による場合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 接続している他の機器に起因した故障及び損傷。
 - 粉塵フィルターや冷却エレメントなどの消耗部品・オプション・交換パーツの消耗、損傷。
- 3) 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 4) 故障その他による営業上の機会損失は当社では補償いたしません。
- 5) 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

この保証書は、以上の保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これにより、弊社または弊社以外の事業者に対する、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

[illegible]